

めぐる



器も、人も、育っていく。

あなたの日々と同じ速度で  
息をする漆器は生きている  
産まれたての子供みたいに  
やわらかい肌とやさしい形  
森にかえっていくみたいに  
ゆるやかに時間がながれて  
感触、音、記憶がめぐって  
あなたの日々と同じ速度で  
生きている漆器が育ち——  
これから何をいれますか？



### 基本が美しく整う 三つ組の椀

「めぐる」の三つ組は、飯椀・汁椀・菜盛り椀として、日本人の食の基本に寄り添います。まるでお守りのように、人生を共に過ごす一揃いです。一番小さなものは、子ども椀として使い始められるサイズです。

収納時には入れ子になり、きれいに重なるそのかたちは、禅の修行に用いられる「応量器（おうりょうき）」にヒントを得ました。命の重さ、心の深さ、天地への感謝を学ぶという、その精神を引き継いだ器です。



## ダイアログ・イン・ザ・ダーク × 会津漆器

心地よい肌触りや口当たり、そして抱き上げたくなる優しいかたちを追求するため、「めぐる」のデザインには、暗闇のソーシャル・エンターテイメント「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」で活躍するアテンドたちが参加しています。（アテンドは、専門的なトレーニングを積んだ全盲の方にしかできない暗闇の案内人のことです。）視覚に頼らずに生きているからこそ、手先や唇の繊細な感覚を持つ彼女たちのアドバイスをもとに、会津の漆器職人たちが約1年間に渡って丁寧に試作と改良を繰り返し、「めぐる」は生まれました。



### “感性の対話”から生まれた2つのかたち

水平 すいへい (写真左) 「しっかりしていてこぼさず持てる。」 「手だけじゃなくからだ全体の重心が決まる。」安心して抱き上げるような骨格があるため、器の傾きが分かりやすく、たしかな安定感のある凛とした竹まいの形です。

日月 にちげつ (写真右) 「ずっと手の中に包んでおきたい。」 「自分の唇と器の境目がわからなくなってくるみたい。」思わず頬ずりしたくなる心地よさは、まるで人のぬくもりそのもの。日月を重ねるほどに愛情が増していく形です。



## 確かな素材と製法 - 日本の漆を未来へ -

会津地域は森林資源に恵まれ、城下町としての歴史と共に400年以上の伝統を受け継ぐ、日本を代表する漆器産地です。「めぐる」は、会津漆器の腕利きの職人たちが正統な技法で作る漆器です。国産のトチの木で作られた木地の上に漆を丁寧に塗り重ね、自然素材だけで作られます。仕上げの漆塗りには上質な日本産の漆を使用しています。今や国産の漆は希少ですが、透明度が高く非常に硬く仕上がる性質があります。私たちは「めぐる」の購入が国産漆の植栽や若手職人の仕事づくりに繋がる仕組みづくりにも取り組んでいます。



### 永くお付き合いいただくために - お手入れとお直し -

漆器のお手入れは、難しくありません。洗う時は、食器用洗剤と柔らかいスポンジを使っていただいて結構です。やさしく洗った後、柔らかい布でしっかり拭いてあげると美しい艶が長持ちします。（食洗機や電子レンジの使用は避けてください。）

また、お直しをしながら長く使うことができることも漆器の良さ。器の塗り直しや欠けや割れの補修など、いつでも対応しています。親から、子や孫へと、いのちが巡るように永く旅する器になって欲しいと願っています。

## 我が子のように迎え、育てていく器

「めぐる」は素材や製法にこだわり、貴重な国産漆を保つ生産サイクルのため、基本的に年数回の受注期間を設けての予約販売制となっております。ご注文いただいたからのおおよそ十月十日（とつきとおか）でお手元に届きます。その間、メールなどでご自身の器が育つ（作られる）様子をお知らせしています。我が子を迎え入れるように、器のマタニティタイムをお楽しみください。専用の桐箱にお入れしてお届けします。また、大切な方への贈り物に、オリジナルの誕生花の蒔絵を入れたり、器への名入れもしておりますので、お気軽にお問い合わせください。



「めぐる」の詳細・ご注文は公式サイトから <http://meguru-urushi.com/>

企画・販売：漆とロック株式会社

〒965-0866 福島県会津若松市新横町4-16-201

TEL 0242-85-6803 FAX 0242-85-6804

MAIL [meguru@urushirocks.com](mailto:meguru@urushirocks.com)



GOOD DESIGN  
AWARD 2015



JAPAN WOOD DESIGN  
AWARD 2015